小学校学習指導要領

国語科の改訂のポイント

文部科学省
初等中等教育局
教育課程課教科調査官　菊池　英慈

National Institute for
School Teachers
and Staff Development
独立行政法人教職員支援機構

教科の目標の改善

○国語科の教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、**国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
学びに向かう力、人間性等	(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

「言葉による見方・考え方」とは

○　国語科は、様々な事物、経験、思い、考え等をどのように言葉で理解し、どのように言葉で表現するか、という言葉を通じた理解や表現及びそこで用いられる言葉そのものを学習対象としている。

○　言葉による見方・考え方を働かせるとは、児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることであると考えられる。

○　この「対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりする」とは、言葉で表される話や文章を、意味や働き、使い方などの言葉の様々な側面から総合的に思考・判断し、理解したり表現したりすること、また、その理解や表現について、改めて言葉に着目して吟味すること
を示したものと言える。

教科の目標の改善

○国語科の教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
学びに向かう力、人間性等	(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学年の目標の改善

	第１学年及び第２学年	第３学年及び第４学年
知識及び技能	(1)日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) ・・・・・・
思考力、判断力、表現力等	(2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	(2) ・・・・・・
学びに向かう力、人間性等	(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) ・・・・・・

学習内容の改善・充実

○内容の構成

〔知識及び技能〕
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
(2) 情報の扱い方に関する事項
(3) 我が国の言語文化に関する事項

〔思考力、判断力、表現力等〕
A　話すこと・聞くこと
B　書くこと
C　読むこと

(参考：現行学習指導要領)

A　話すこと・聞くこと
B　書くこと
C　読むこと
〔伝統的な言語文化と
国語の特質に関する事項〕

学習内容の改善・充実（語彙）

第１学年及び第２学年	第３学年及び第４学年	第５学年及び第６学年
オ　身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。	オ　様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。	オ　思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。

学習内容の改善・充実（情報の扱い方）

第１学年及び第２学年	第３学年及び第４学年	第５学年及び第６学年
ア　共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。	ア　考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。	ア　原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。
	イ　比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。	イ　情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

学習内容の改善・充実（我が国の言語文化に関する事項）

第１学年及び第２学年	第３学年及び第４学年	第５学年及び第６学年
ア　昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。	ア　易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	ア　親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。
イ　長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。	イ　長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。	イ　古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人の・・・

学習内容の改善・充実（学習過程）

A　話すこと・聞くこと			B　書くこと	C　読むこと
○話題の設定 ○情報の収集 ○内容の検討			○題材の設定 ○情報の収集 ○内容の検討 ○構成の検討 ○考えの形成 ○記述 ○推敲 ○共有	○構造と内容の把握 ○精査・解釈 ○考えの形成 ○共有
（話すこと） ○構成の検討 ○考えの形成 ○表現 ○共有	（聞くこと） ○構造と内容の把握 ○精査・解釈 ○考えの形成 ○共有	（話し合うこと） ○話合いの進め方の検討 ○考えの形成 ○共有		

学習内容の改善・充実（言語活動例）

		1・2学年	3・4学年	5・6学年
A話すこと・聞くこと	○話したり聞いたりする活動	ア	ア、イ	ア、イ
	○話し合う活動	イ	ウ	ウ
B書くこと	○説明的な文章を書く活動	ア	ア	ア
	○実用的な文章を書く活動	イ	イ	
	○文学的な文章を書く活動	ウ	ウ	イ、ウ
C読むこと	○説明的な文章を読む活動	ア	ア	ア
	○文学的な文章を読む活動	イ	イ	イ
	○本などから情報を得て活用する活動	ウ	ウ	ウ

学習内容の改善・充実（漢字指導）

新

第四学年

愛案以衣位茨印英栄媛塩岡億加果貨課芽賀改械害街各覚潟完官管関観願岐希季旗器機議求泣給挙漁共協鏡競極熊訓軍郡群径景芸欠結建健験固功好香候康佐差菜最埼材崎昨札刷察参産散残氏司試児治滋辞鹿失借種周祝順初松笑唱焼照城縄臣信井成省清静席積折節説浅戦選然争倉巣束側続卒孫帯隊達単置仲沖兆低底的典伝徒努灯働特徳栃奈梨熱念敗梅博阪飯飛必票標不夫付府阜富副兵別辺変便包法望牧末満未民無約勇要養浴利陸良料量輪類令冷例連老労録　（202字）

現行

第四学年

愛案以衣位囲胃印英栄塩億加果貨課芽改械害街各覚完官管関観願希季紀喜旗器機議求泣救給挙漁共協鏡競極訓軍郡径型景芸欠結建健験固功好候航康生差菜最材昨札刷殺察参産散残士氏史司試児治辞失借種周祝順初松笑唱焼象照賞臣信成省清静席積折節説浅戦選然争倉巣束側続卒孫帯隊達単置仲貯兆賜低底停的典伝徒努灯堂働特得毒熱念敗梅博飯飛費必票標不夫付府副粉兵別辺変便包法望牧末満未脈民無約勇要養浴利陸良料量輪類令冷例歴連老労録　（200字）

	H20年告示	H29年告示	新規追加	他学年からの移行	他学年への移行
第１学年	80字	80字	―	―	―
第２学年	160字	160字	―	―	―
第３学年	200字	200字	―	―	―
第４学年	200字	202字	＋20字 ○	＋5字 ○	－23字 ○
第５学年	185字	193字	―	＋21字	－13字
第６学年	181字	191字	―	＋11字	－1字
計	1006字	1026字			

「小学校学習指導要領 比較対照表」
（文部科学省ＨＰより）